

【開催報告】

日中省エネ・環境総合フォーラムに向けた省エネ・環境技術交流会 in 瀋陽

日中経済協会は、遼寧省発展改革委員会との共催により、下記の交流会を開催し、日中関係者 100 名以上が出席いたしました。日本側からは、経済産業省、瀋陽総領事館、中国側からは国家発展改革委員会からも来賓がありました。

本交流会は実務交流を重視し、また毎年日中双方で交互に実施をする日中省エネ・総合フォーラムに向けた案件形成の一層の推進のために始めたもので、今回で 3 回目を迎えます。2016 年は北京市と山東省淄博市、2017 年は天津市で実施を致しました。

昨年との相違点として、開催場所を瀋陽、青島の 2 か所に拡大したこと、また中国における地方の実情を知って頂くために、交流会翌日に日本企業の希望者による企業見学（ブリヂストン自動車タイヤ工場、BMW 工場など）を実施いたしましたことが挙げられます。

日時：2018 年 9 月 25 日（火）9:00～17:00

場所：遼寧大厦（瀋陽市皇姑区黄河南大街 105 号）

主催：日中経済協会、遼寧省発展改革委員会

実施：遼寧省省エネ研究会、瀋陽省エネ協会

協力：瀋陽市発展改革委員会

政府：経済産業省、国家発展改革委員会資源節約環境保護司、“一帯一路”建設促進中心（仮）

参加：日本側・計 19 社、中国側・102 社

1. 開会あいさつ

開会にあたり、日中 3 名の来賓よりご挨拶いただきました。また、本会は任洪波瀋陽省エネ協会秘書長より司会進行いただきました。

(1) 王浩 国家発展改革委員会 環境資源司主任科員

日中の省エネ・環境分野での交流と協力を促進するため、中国国家発展改革委員会と商務部は経済産業省と日中経済協会と共に、省エネ・環境総合フォーラムをこれまで 11 回開催してきました。省エネ・環境分野での日本の技術や管理経験と中国の巨大な市場のポテンシャルとの間には相互補完性があり、大きな協力の可能性があります。両国の企業が共に利益を創出し、双方の協力メカニズムを整備し、協力分野を広げていくための一環として、2016 年より開催している技術交流会が、新たな協力プロジェクトを開拓し、両国政府より企業に大きなビジネスの機会を提供し、両国の経済発展へ新たな貢献を担うことを期待しております。

(2) 斧宗一郎 経済産業省北東アジア課課長補佐

日中平和友好条約締結 40 周年であると同時に、中国の改革開放 40 周年という節目の年である本年、日中関係は、「新たなスタート」を切り、首脳間の会談を経て、両国のハイレベルでの交流が活発化しております。両国の経済関係の発展は交流の最も重要な基盤の一つであり、省エネ・環境分野における日中協力の重要なプラットフォームとして定着している省エネ・環境フォーラムや今年で 3 年目の試みとなる技術交流会では具体的な協力やビジネスが生み出されております。今回の交流会でも、これまで以上に日中双方の理解が深まり、ビジネス発展のチャンスを多く見つけられるような活発な交流が行われるものと確信しております。

(3) 付永良 遼寧省発展改革委員会環境資源気候処処長

中国経済は構造転換、グレードアップ、品質の高い発展に向かう重要な時期にあり、省エネ・環境産業を発展させることは必然の流れであり、得難いチャンスでもあります。とりわけ、遼寧地域は従来の重工業基地であり、一帯一路、東北新興戦略の実施に伴い、地域戦略と企業の活性化が強化され、省エネ・環境技術のレベルアップ、環境産業の健全性を進めていく必要性が高まっています。日中双方の産業技術交流を推進し、需給をマッチングさせることで、遼寧省の省エネ・環境技術の向上と健全な発展に大きな役割を果たすことが出来ると期待しております。その意味で、今回の技術交流会が、環境分野の技術のレベルアップと環境産業の発展において、極めて大きな推進の役割を果たし、日中双方の交流と協力の素晴らしい基盤となることを期待しています。

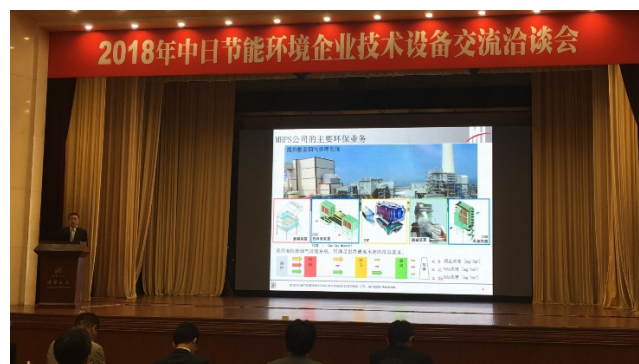
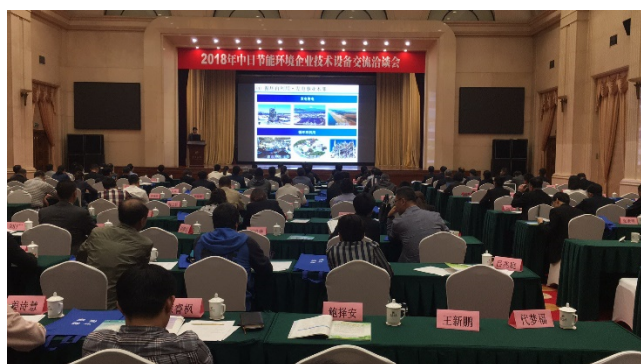


2. 日本企業による技術・設備プレゼンテーション（午前の部）

日本企業 12 社、中国企業 1 社が技術・製品紹介のプレゼンテーションを 10 分程度ずつ行い、製品・サービスの特色を説明し、中国企業は熱心に耳を傾けておりました。

<プレゼンテーション企業とテーマ>

1. 東洋克斯貿易（上海）有限公司（高性能配管による省エネ対策）
2. 日立造船貿易（上海）有限公司（高速繊維ろ過装置：まりも）
3. 丸紅（北京）商業貿易有限公司（汚泥焼却設備、上下水道総合管理及び水質環境保全、CO₂ 排出権取引）
4. 三菱日立電力系統（中国）投資有限公司（平板式脱硝触媒）
5. JFE 工程技術（北京）有限公司（キルン・ストーカ炉による産業廃棄物処理）
6. 三浦工業（中国）有限公司（低 NO_x 天然ガス蒸気ボイラ）
7. 菱重環境技術サービス（北京）有限公司（パドル間接加熱式汚泥乾燥機）
8. CMI 株式会社（土壤汚染の調査&対策工事の取り組みについて）
9. 株式会社 J&C [必藍科技発展（上海）有限公司協力]（浄水剤、浄水設備、黒臭水体の原位修復、土壤改良バイオ・酵素系列）
10. 株式会社 SUMIDA（炭化技術熱分解炭化設備）
11. 日本永久技術研究所（負圧式サイクロンと除湿装置）
12. 漢能ホールディングス集団（薄膜対応の水力、風力、太陽光発電の利用とシェアリング）
13. 荏原機械（中国）有限公司（ステンレス製立型多段遠心ポンプ等）



3. 個別マッチング会（午後の部）

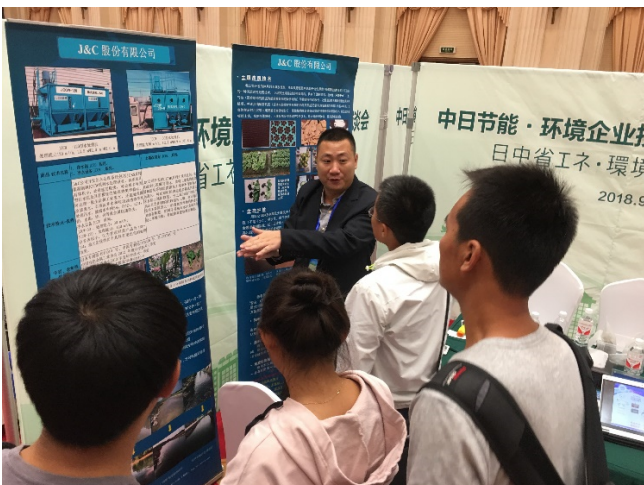
日本企業のブースに中国企業が訪問する形式のビジネスマッチングを執り行いました。多いところで 1 社あたり、20 社ほどの中国企業とマッチングを行った企業もあり、また少なくとも全体で合計 14 社とのビジネスにつながる商談があったとの事で、ブースによっては

列をなして企業の説明を待っている様子も見受けられ、盛り上がった様子が感じられました。

＜中国側出席企業＞

- 遼寧光達時代節能技術服務有限公司
- 蔚藍科技有限公司
- 中建能源管理（遼寧）有限公司
- 遼寧美託科技股份有限公司
- 遼寧海天閣環保科技有限公司
- 遼寧博聯特節能環保技術有限公司
- 漢能薄膜發電集團
- 遼寧政寶汽車銷售服務有限公司
- 瀋陽龍駿環保工程技術有限公司
- 瀋陽市安捷客運集團有限公司
- 大連湧清水處理技術有限公司
- 遼寧愛沃格林節能技術有限公司
- 特變電工瀋陽變壓器集團公司
- 瀋陽市北新節能設備有限公司
- 瀋陽市自然纖維制品廠
- 吉林省嘉納新能源開發有限公司
- 遼寧工業煙氣治理產業技術創新聯盟
- 瀋陽永動機械製造有限公司
- 法庫縣秀水河鎮陳祥堡村
- 瀋陽佳世特工程機械有限公司
- 瀋陽世洲酒店
- 瀋陽奧費斯特機電科技有限公司
- 北方華錦化學工業集團有限公司
- 遼寧碳排放權交易中心有限公司
- 撫順新鋼鐵有限公司
- 遼寧鞍鍊熱電有限公司
- 遼寧弘昊環境工程有限公司
- 瀋陽眾創高科節能電機技術有限公司
- 遼寧省環保集團有限責任公司
- 遼寧華西生物質材料有限公司
- 遼寧中聯碳彙環保科技有限公司
- 中環聯合（北京）認證中心有限公司
- 瀋陽華通新能源科技有限公司
- 遼寧邁迪融企信息技術有限公司
- 黑龍江新雙鍋鍋爐有限公司
- 成都祥和雲端設備集團有限公司
- 瀋陽新長城電纜有限公司
- 遠大空調有限公司
- 瀋陽宇航合信教育諮詢有限公司
- 瀋陽正昊幕牆裝飾工程有限公司
- 瀋陽隆達環保節能集團有限公司
- 瀋陽東大工業爐有限公司
- 瀋陽鴻凱電子商務有限公司
- 遼寧贏普節能服務有限公司
- 遼寧金銳工業工程技術有限公司
- 東北大學
- 中節能科（瀋陽）合同能源管理有限公司
- 瀋陽建築大學
- 瀋陽環境科學研究院
- 北京卡本新能科技股份有限公司
- 瀋陽宏宇節能環保有限公司
- 隆基新能源有限公司
- 瀋陽市鎧龍鍛壓有限公司
- 瀋陽飛馳電氣設備有限公司
- 中國有色（瀋陽）冶金機械製造有限公司
- 北京艾普曼科技有限公司
- 遼寧綠保再生資源回收有限公司
- 遼寧服務實業有限公司
- 遼寧光達時代節能技術公司
- 華晨汽車集團
- 遼寧中旭智業有限公司
- 瀋陽微控新能源有限公司
- 瀋陽海之源
- 遼寧省內蒙古商會
- 國能昌凶生物發電有限公司
- 瀋陽金陽光燈飾有限公司
- 瀋陽藍天裝飾科技有限公司
- 美國 VYCON 中國代表處

- 遼寧東方華宇節能工程有限公司
- 吉林省中通能源控股有限公司
- 北方重工（瀋陽）自動化工程技術有限公司
- 遼寧鑫隆科技有限公司
- 北方華錦化工集團有限公司
- 盤錦遼河富騰熱電有限公司
- 大民保溫防腐材料製造有限公司
- 遼寧賽爾暖通設備製造有限公司
- 昌凶國能生物發電有限公司
- 貝卡爾特瀋陽精密鋼製品有限公司
- 瀋陽傑唯科技有限公司
- 瀋陽逸佰星科技有限公司
- 瀋陽八達能源研究所
- 瀋陽華順科技有限公司
- 瀋陽工業大學
- 瀋陽節能協會
- 瀋陽宏程世紀制冷設備有限公司
- 青島特利爾環保股份有限公司
- 億水科技有限公司
- 瀋陽泰寶隆節能科技有限公司
- 瀋陽秀順節能科技有限公司
- 上海東方威爾節能技術有限公司
- 瀋陽維斯頓工程諮詢有限公司
- 瀋陽蘭昊新能源科技有限公司
- 遼寧金佰瑞電力科技發展有限公司
- 樂葉光伏能源有限公司
- 瀋陽興合熱力供暖有限公司
- 瀋陽元聖燃燒器製造有限公司
- 亞洲節能資本有限公司
- 遼寧物源生物能源有限公司
- 瀋陽泰豪管材有限公司
- 瀋陽揚波科技能源工程有限責任公司
- 遼寧省信息中心
- 遼寧省工程諮詢公司



4. 参加者からの感想（アンケートより）

(1) 今回の技術交流会についての評価

- ・ マッチング参加企業をもう少し増やしてほしい。
- ・ 参加企業の企業概要が事前にわかるとコンタクトしやすくなる。
- ・ 日中双方の求めるものがよく分かった。今後の適切なマッチングにつながる点で本日の経験は役立つ。
- ・ 継続的な開催を希望。
- ・ マッチング商談は実務につながるので、非常に良いと思う。
- ・ 逐語通訳を入れる場合はもう少しプレゼンの時間を与えてほしい。

(2) 中国で省エネ・環境ビジネスを事業展開することにおける課題

- ・ 入札では最低価格をオファーするメーカーに落札させて欲しい。
- ・ 法律が異なるので、対策を確定させられない。
- ・ もっと健全な政策と法規を整備する必要がある。
- ・ 中国国内でも、地域によって政策の導入時期が異なるため、事業展開に支障がでる。
- ・ 排気基準をはじめとした中国政策の強化が遅く、また地方政府の要求は透明性に欠けていると思う。

5. 企業見学（9月26日）

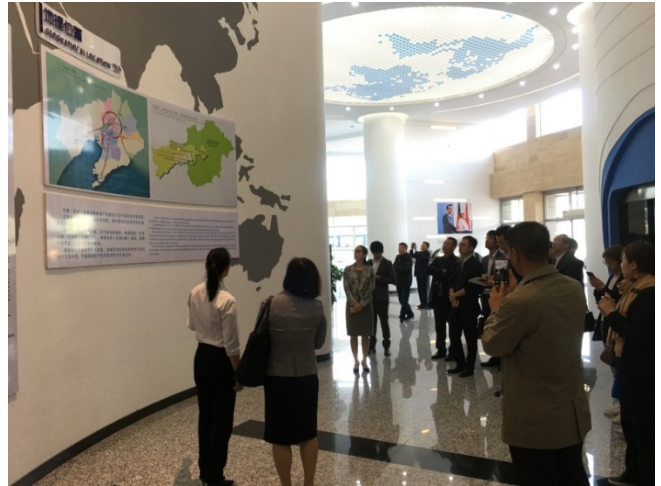
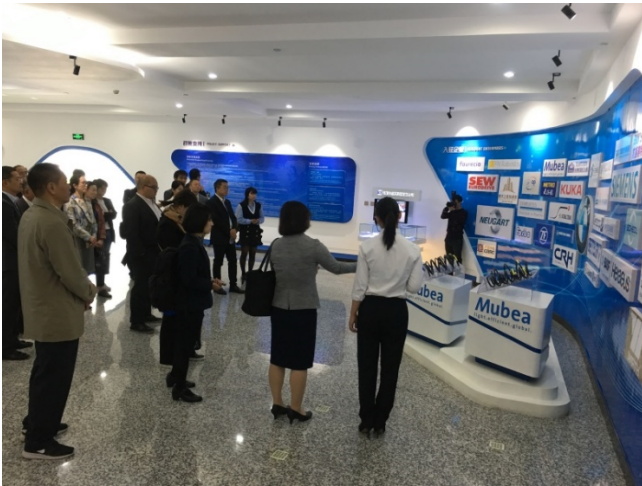
瀋陽市における省エネ・環境の模範工場を中心に、中独産業企画館、ブリヂストン自動車タイヤ工場、BMW工場を見学しました。

(1) 中独（瀋陽）ハイエンド設備製造産業園 規画展示センター

2014年7月、習近平主席はメルケル独首相と北京で会談した際に「ドイツの品質が必要であり、ドイツには中国の経済発展のスピードが必要」と述べた。同年10月には李克強総理が訪独し、中独政府協力綱要を発表。中独両国は互いに補完し合い、協力して発展することを決定。2015年12月17日に国務院が中独両国のハイエンド設備製造産業園を建設する文書を発表し、本産業園は、中国製造2025、独Industry4.0をマッチングさせる中国唯一の重要プラットフォームと位置付けられた。

本センターでは、産業園の概況や成果などの展示し、BMWとの取引企業ら裾野産業が多数入居していることがわかる（2017年時点での273の進出プロジェクトのうち、内資48%、外

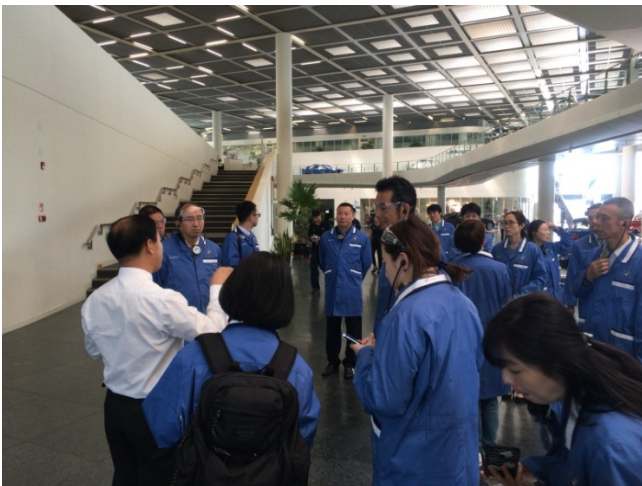
資 52%、うち 33%がドイツ企業)。



(2) 華晨宝馬 (BMW) 鉄西工場

本工場は創業 102 年の BMW グループにとって全世界の 25 番目の工場。総面積 207 万 m²(≒北京故宮の 3 倍)、投資総額 210 億元、工場内 7,000 人が二交代制 (8:30~15:30、15:30~01:00) で勤務、ちなみに瀋陽市内もう 1 工場と合わせると 17,000 人。乗用車は全て受注生産。左写真の頭上は塗装から組み立てへ移る工程であり、移動速度=リードタイムであり、1 分で 1 台の生産ペース。昨年(2019)の年産は 39 万台。工場内はエアコンやスチーム (地域暖房) は導入せず、地下水や自然空気ですべて 25 度に保つ省エネ設計。

(紹介の後、ボディの溶接工程など工場見学。ボディ溶接工場は、従業員 800 人、1800 台のロボットで自動化率 95%とのこと。)



(3) ブリヂストン (瀋陽) タイヤ有限公司

ブリヂストンは 1931 年創業、現在は全世界で 14 万人を抱える世界シェア No1 のタイヤメ

ーカー。タイヤは乗用車用から特大の建機、航空機用まで、その他、タイヤ、ゴムの技術を活かした多角化事業として、自転車やゴルフ用品なども製造。現在生産拠点は 26 カ国に展開。海外生産シェアは 75%で多くは海外。他方、ブリヂストン瀋陽（普利司通（瀋陽）車胎有限公司）は 1996 年に設立、日本人派遣者 2 名、中国人幹部 7 名で 23 年目を迎えており、VOCs 排出量を 200 トン/年に収める環境への取り組みや、LNG ボイラーの余熱回収や空調の自動制御などにより 3 年間で 360 万元のコスト節約を達成した省エネへの取り組みなどの紹介を受けた。座学後は、工場敷地内の汚水処理場や省エネ改造ボイラーなどを時間制約により車上視察。



以上